

(仮訳)
アフリカの角及び周辺地域の平和と安定特別会合
河野外務大臣冒頭発言(日本語仮訳)
2019年8月29日 於:横浜

皆様,

本特別会合の議長として、皆様を歓迎いたします。特にアビィ・アハメド・エチオピア連邦民主共和国首相、モハメド・アブドゥライ・モハメド・ファルマージョ・ソマリア連邦共和国大統領及びジェームズ・ワニ・イッガ・南スーダン共和国副大統領の出席は大変貴重であり、感謝申し上げます。

昨年来、エチオピアとエリトリアの和平協定を皮切りに、アフリカ自身の取組による歴史的な動きが見られました。この素晴らしい合意は、エリトリア・ソマリアの関係及びエリトリア・ジブチの対話への波及効果がありました。また、南スーダンにおける衝突の解決に関する再活性化された合意(R-ARCSS)の署名も歓迎できます。さらに、スーダンにおけるアフリカ連合及び政府間開発機構(IGAD)議長国であるエチオピアによる調停努力の下、スーダンにおける「政治合意」及び「憲法宣言」への署名が行われたことを歓迎します。日本はスーダンからのイルハーム・イブラヒーム・ムハンマド・アフマド氏の本会合への出席を歓迎いたします。

また、難民保護など、同地域の平和維持のためにウガンダ、エチオピア、ケニア及びジブチが果たしている役割と取組を称賛します。このような素晴らしい事象の基礎を築いた長期にわたる努力に我々は誇りを持つべきでしょう。

まず、このようなアフリカ諸国及び諸機関による努力と進展に、皆様から拍手をお願い

します。

5月、私はエチオピアを訪問し、アビイ首相から国内改革におけるひとかたならぬ努力を伺いました。また、南スーダンも訪問しました。サルバ・キール大統領からは、暫定的な統治機構の設立に向けたプロセスがいかに難しいか説明を受けました。

同地域が直面している多角的な問題に対処するために、まさに今、平和の配当について考えるべきです。日本は、同地域において連結性を強化し、平和と安定を促進するよう、引き続き支援をしていく心づもりです。

以上のことを述べましたが、議長としては、同地域の今後に向けて、とりわけ同地域の差し迫った必要性にいかにより最適な対処をするかについて、本会合が全ての関係者が意見を交換する場となることを強く願っています。